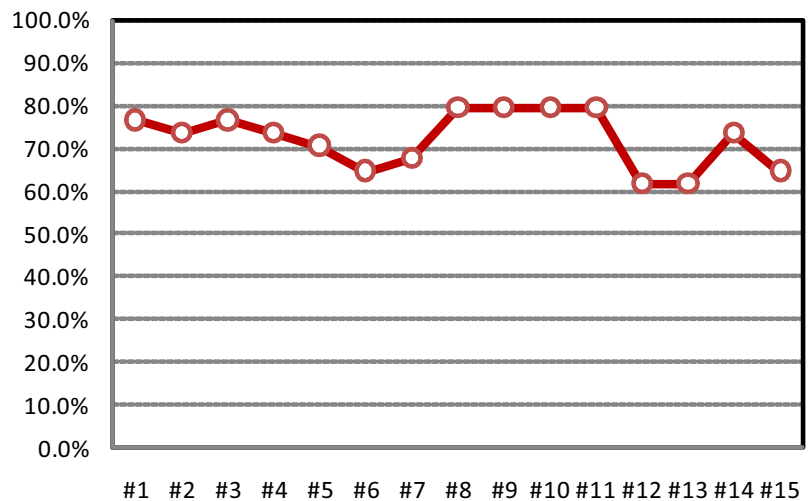


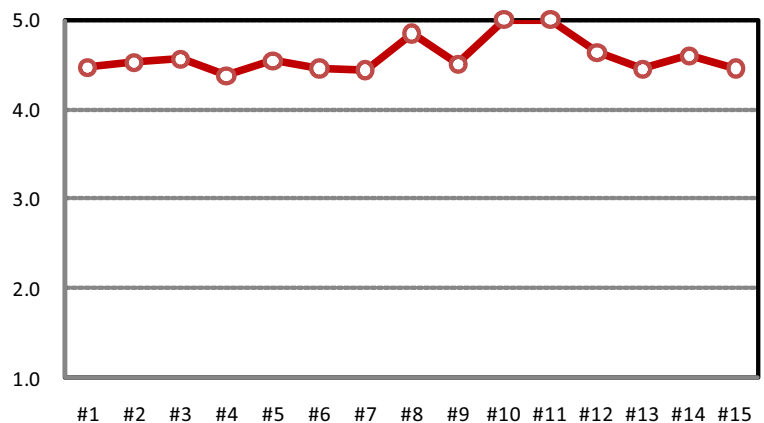
職種	度数	%
01.医師	24	75.0%
02.看護師	3	9.4%
03.保健師	0	0.0%
04.助産師	1	3.1%
05.薬剤師	0	0.0%
06.放射線技師	0	0.0%
07.臨床検査技師	0	0.0%
08.救急救命士	0	0.0%
09.理学療法士	0	0.0%
10.作業療法士	0	0.0%
11.柔道整復師	0	0.0%
12.臨床工学技士	0	0.0%
13.管理栄養士	0	0.0%
14.音楽療法士	0	0.0%
15.小中高養護教諭	0	0.0%
16.介護福祉士	1	3.1%
17.社会福祉士	2	6.3%
18.一般	0	0.0%
19.その他	1	3.1%
合計	32	100.0%

年代	度数	%
1. 20代	1	3.1%
2. 30代	2	6.3%
3. 40代	2	6.3%
4. 50代	1	3.1%
5. 60代	1	3.1%
6. 70代以上	0	0.0%
7. 不明	25	78.1%
	32	100%

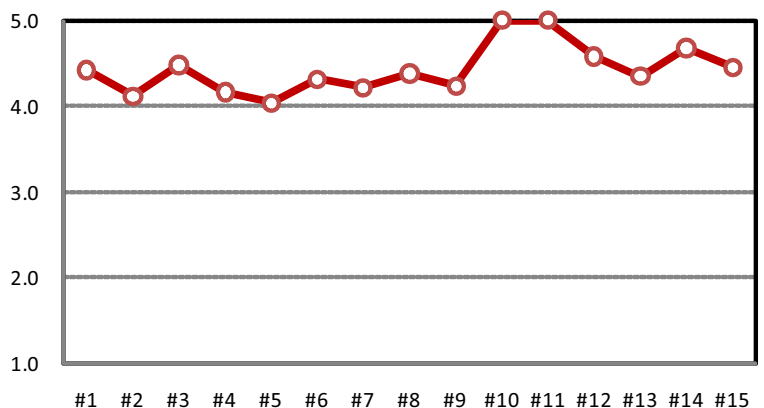
出席率推移



講義満足度



理解度



5: 良く理解できた 4: 概ね理解できた 3: 普通 2: あまり理解できなかった
1: 全く理解できなかった

登録者34名。医師が圧倒的に多く75%を占めた。看護師9.4%、社会福祉士6.3%であった。出席率は76.5%/64.7%（開始時/終了時）であり、開始時からの減少は極めて少なく保たれていた。満足度、レベル、理解度、分かり易さはすべて4.5以上であり、出席者は講義に満足しつつさらに高いレベルの講義を受講できた。医師の学び直し教育において、要求度の高い重要な位置を占める科目であることが分かる。貢献度も高いと考える。